

船舶事故調査報告書

平成22年7月1日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年8月31日19時30分ごろ、本船が発見された。）
発生場所	不明（三重県鳥羽市畔蛸町魚見埼南端付近（概位 北緯34°23.0′ 東経136°53.2′）で無人の本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年9月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第三 ^{にしむら} 西村丸、0.7トン ME3-61604（漁船登録番号）、個人所有 6.15m(Lr)×1.77m×0.63m、FRP 船外機、漁船法馬力数30、平成2年10月10日
乗組員等に関する情報	船長 男性 82歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年9月5日 免許証交付日 平成19年9月27日 (平成25年5月29日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船外機脱落、船底にき裂
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、台風により半壊した定置網を揚収修理するために、平成21年8月31日14時ごろ、三重県鳥羽市小浦港を出航し、同市魚見埼南端から約50m沖の小型定置網に向かった。 17時ごろになっても船長が帰港しないため、家族が捜索したところ、19時30分ごろ魚見埼南端付近の岩場で、網に錨が絡まった状態で沈んでいる本船が発見された。 船長は、平成21年9月2日11時30分ごろ、志摩市阿児町の海岸において、付近住民によって発見され、海水吸引による溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：波高約2～3m 特記事項：伊勢志摩地方に波浪注意報が発表されていた。
その他の事項	船長は、持病もなく、健康状態も良好であった。 船長は、救命胴衣を船内に備えていたが、着用していなかった。 船長は、泳ぎは得意であった。 船長は、20歳ごろから60年以上の漁船乗船の経験を有していた。 本船には、揚収した一部の定置網が残されていた。

	本船は、本事故後、廃船処理された。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり 不明 あり 死因は溺死であった。 本船は、魚見埼南端沖で定置網を揚収中、船長が落水した可能性があると考えられるが、落水した状況については明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が魚見埼南端沖で定置網を揚収中、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられるが、その原因を明らかにすることはできなかった。	